

新学生寮 建設進む

新習志野キャンパスに建設中の新学生寮が、いよいよ風格ある骨格を現した。2月4日に地鎮祭を終えて以降、着々と工事が進められている。完成予定は来年3月(25年度末)で、26年度から原則1、2年生の寮として供用が始まる。



▲ 左の8階建てが男子棟、右端6階建てが女子棟



▲ 新習志野 学生寮 室内イメージ
新学生寮は、新習志野キャンパス6号館の南東側グラウンドの一角に建てられている。鉄筋コンクリート造り、最高部約40mで、建設面積2842・79平方m、延べ床面積1万5704・42平方m。男子寮は地上8階建て336室、女子寮は6階建て56室の合計392室。海外からの客員研究員らが滞在するためのゲストルームを含めると401室からなる。



室内イメージ



①寮室奥(窓際)から出入口扉側を撮影
②③備え付け家具(洋服ダンス) ④同(3面鏡付き洗面台)

▲新学生寮の完成予想図 ▶女子寮(稽寮)の室内

▲新学生寮の完成予想図 ▶女子寮(稽寮)の室内

▲新学生寮の完成予想図 ▶女子寮(稽寮)の室内

▲新学生寮の完成予想図 ▶女子寮(稽寮)の室内

成長めざす教育寮

新習志野キャンパスに男女棟401室

NEWS CIT

2013 9.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<http://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 椎名君に「富士章」/田中さん若手奨励賞/山口教授らの団体、表彰/建都・不動さんが救命指導役/越山研が今年も救命資格
- 3面 学生支援イベント好評/校友「山本厚生氏」
- 4面 7月オープンキャンパス/夏休みはロボットと/新任紹介

女子寮 入寮者を募集

4月に開設される稽寮(女子寮)への入寮者を募集しています。今年9月現在で学部1〜3年次の学生が対象(休学・留年者除く)。まずは次の日程で開かれる説明会に参加しよう！

- 第1回 9月24日(火)12時15分から、新習志野校舎1号館1101教室で。
- 第2回 9月26日(木)12時15分から、津田沼校舎6号館613教室で。

※津田沼ではモデルルーム見学も可。詳細は学生センターへ。

▲新学生寮の完成予想図 ▶女子寮(稽寮)の室内

▲新学生寮の完成予想図 ▶女子寮(稽寮)の室内

OPEN CAMPUS
9.29(日) さあ! 決めよう
津田沼キャンパス 10:00~16:00
受付時間 9:30~

千葉工業大学



▲新学生寮の完成予想図 ▶女子寮(稽寮)の室内

▲新学生寮の完成予想図 ▶女子寮(稽寮)の室内

▲新学生寮の完成予想図 ▶女子寮(稽寮)の室内

千葉銀行が助成金 研究開発 本学連携3社に

千葉銀行(佐久間英利 頭取)は「ちばぎん・研究開発助成制度」の対象に地元11社の産学連携研究を選び、7月30日、千葉銀行本店で助成金交付式を行った。本学からは

▲新学生寮の完成予想図 ▶女子寮(稽寮)の室内

椎名君に「富士章」

ベンチャースカウト最高位



ボーイスカウト日本連盟がベンチャースカウト（高校生年代から20歳未満）の最高位に与える「富士章」を、本学の椎名宏太君（生命環境科学科2年）が受賞し写真。7月21日、胸に縫い付ける略章を伝達された。

富士章は米国「イーグルスカウト」、英国「クイーンズスカウト」と並ぶ栄誉ある資格章。富士章をとるには▽自覚ある生活設計▽移動キャンプや国際交流など高度な活動をする「アドバード」を3つ以上達成▽野営章や救急章を含む技能章を5個以上取得▽などが課せられ、ぶ厚い報告書を提出しなければならない。

椎名君は、第15回日本

田中さん若手奨励賞

窒化炭素の潤滑性を発表



新材料合成などを研究する田中一平さん（工）が日坂本幸弘研究室が日本材料学会の平成25年度学術講演大会（6月8日、工学院大学新宿キャンパスで開催）ポスター発表部門で「若手奨励賞」を受賞した。

窒化炭素は、緊密な窒素-炭素結合から理論計算上、ダイヤモンド以上に硬くなると期待される未来材料。無機材料でありながら弾性変形するのでも、摩耗量がゼロに近い「ゼロ摩耗材」としての可能性も持ち、研究競争が繰り広げられている。

田中さんは坂本教授の研究室で、薄膜を形成する気相法のひとつ「マイクロ波プラズマCVD（化学気相成長法）」による窒化炭素を合成。相手材に炭化チタンを用い、窒化炭素の優れたトライボロジー特性（潤滑性）を明らかにした。

ポスターは分かりやすいように図や文字を調整し、講演では簡潔な説明を心掛けたという。

田中さんは「このような賞を頂けて光栄です。坂本教授をはじめ同期後輩の皆さんの助言と協力のおかげです」と語った。

日本材料学会は機械、金属、化学、電気、建設、土木、農学など多岐にわたる分野を包括した材料学に関する学会で、若手奨励賞は今回、学会発足50周年を記念して設けられた。

山口教授らの団体、表彰

「工学教育の充実に貢献」

経営情報科学科の山口佳和教授らが活動している関東工学教育協会産学協議会（代表小口幸成・元神奈川工業大学長）が6月14日、芝浦工業大豊洲キャンパスで開かれた公益社団法人日本工学教育協会（JSEE）会長の松本洋一郎（東京大副学長）の定時総会で、同協会が今年から設けた会員表彰制度「JSEEアワード」の第1回受賞団体として表彰された。

日本工学教育協会は、工学教育を研究し技術者の育成を図っている。山口教授の専門分野は産学連携や科学技術政策で、関東産学協議会設立時（2008年）から委員を務め現在、副会長。

ボーイスカウトは、兄のボランティア活動を通じて、被災者の心情に触れる機会があったこと。また、「日本ジャソリ」で国内や世界各国のスカウトに出会い、友好を築いたこと。今後も、スカウト人口や富士章受章者を増やすのを支援したいという。

ボーイスカウトは1907年、イギリスで発祥。野外活動を通じ、社会で活躍する人を育てることを目的とする世界最大の青少年運動で、現在、世界161カ国・地域の約3千万人が加盟している。

山口教授は「協議会の活動が認められ、大変喜ばしい。日本の国際競争力を高め、地球規模の問題の解決に貢献できる技術者を育て上げる教育に、引き続き携わっていきたい」と語った。



救命

救命方法を指導する不動さん（内も）



消防本部認定「応急手当普及員」の資格を持つ不動愛さん（建築都市環境学科1年）は学業の一方、ボランティアとして習志野市消防本部主催の救命講習会に協力。企業社員や学生、未就学児を持つ父母を相手に救命方法を指導に励んでいる。

不動さんは、人や社会のために出来ることは「と考える、千葉経済大学附属高校在学中に市消防本部の普通救命講習1、3と上級救命講習を計18時間受けた。さらに普及員を目指して成人・小児・乳児の心肺蘇生法▽AED▽気道異物除去▽救命講習指導要領」など実技と指導法を計24時間学び、実技筆記試験を経て、日本赤十字社の救急法指導員に相当する公的資格「応急手当普及員」の認定証を取得した。

本学に入学後、市民ボランティア「ならしの救命普及市民の会」の一員として、毎月のように開かれる普通救命講習に協力。市消防本部が最も信頼する普及員の1人となっている。

不動さんは7月13日（土）、新習志野キャンパス4号館アリーナで本学体育会1、2年生300人を対象に開かれた普

建都・不動さんが指導役



JSEEアワードは今年、個人・団体16件が選ばれた。今後も貢献した人々を年1回選定することになっている。

通救命講習にも普及員として参加。習志野市消防本部警防課の宮崎消防司令や本学初代普及員の越山健彦教授（金融・経営リスク科学科）、頑強な消防隊員たちとともに、心肺蘇生法やAEDの操作を人形を使ってやさしく、しっかりと指導した。

不動さんは「短い講習時間内に、どう話せば正確に伝わるか、工夫するのが楽しい。受講してよかった、と喜んで下さると、やりがいを感じます」と話した。無料なので、1人でも多くの方に受講してほしいと呼び掛けている。



今年も全員資格を取得 金融・越山研

子どもやスポーツマンの事故を「用具の安全性」から研究している金融・経営リスク科学科・越山健彦教授の研究室は、今年も7月29日、習志野市消防本部（同市鷺沼）で、新ゼミ生7人が普通救命講習（Ⅱ種）を受講し、全員が合格、資格を取得した。写真。

ゼミ長の長尾侑樹君（3年）は「用具は安全でも、装着の仕方などで危ない場合があり、用具に頼り切るべきではない。予防の意識が大切で、また、危険が及んだ時には、まず周りの人による救命が必要」とそのために研究室は毎年、受講を心掛けている。

今夏は猛暑と大雨被害で、心肺停止者の救急搬送が続出。初動の救命の大切さが印象付けられた。一方、子どもは、安全と思われる用具を使っても、心因性ショックで危険に陥る事例があるという。同研究室の林拓弥君（4年）や大住勇人君（3年）たちは、遊具で遊ぶ幼児たちの行動について幼稚園などでフィールド調査を始めた。

楽しく身づくりイベント

学生支援企画 新習志野で好評

新習志野キャンパスで学生センターが取り組んでいる学生支援イベントが好評だ。

楽しく爽やかな大学生活を送れるようにと2010年から始められた。「友達づくり」「体力づくり」「マナーのスキルアップ」がねらいで、参加すれば他学科生や先輩、教職員との交流も図れるので、リピーターが多い。

Adventure Challenge Camp 7月6日(土)

4号館(体育館)大アリーナに集まった約20人が教職員とゲームをした。大玉を落とさず運ぶ……など簡単な種目。体

カラーコーディネイトと浴衣の 選び方&着付け 7月11日(木)

女子向けに、ヨガ体験やプロのモデルによるウォーキング講座など、工学女子のイメージを払しょくするような企画を



アドベンチャーチャレンジキャンプでゲーム



浴衣で花火大会に行きたい！
スタッキングのリレー戦



スタッキング参加者たち。前列・赤いズボンが瀬尾氏

とどりの浴衣を手に取り、慣れない着付けに挑戦した。参加者たちは「好きな色柄が必ずしも似合うとは限らない。勉強になりました」「花火大会にぜひ着て行きたい！」と感想を寄せた。

スポーツスタッキング教室 7月12日(金)

通常12個のカップをピラミッド状に積んだり崩す速さを競う新スポーツ。2009年世界大会ジュニア部門に総合優勝するなど第一人者の瀬尾剛氏を招いて行われた。登場すると早速パフォーマンスを見せ、技術の高さに驚かせた。学生たちは約40人が参加し、まず練習。瀬尾氏の指導で徐

々にスピードが増す手ごたえに、夢中になった。個人戦とグループ対抗リレー戦を行い、僅差の勝利に一喜一憂、応援の声でわいた。その後、食事を楽しんだ瀬尾氏は「イベントを企画する職員の皆様の前向きな姿勢にとても感動しました」と語った。

活躍する 校友

フジコー社長

山本 厚生氏 (72歳)

(昭和39年、金属工学科卒)

殺菌や消毒の効果など高い関心を集める光触媒技術。その実用化に成功した株式会社フジコー(本社・北九州市)の社長、山本厚生さんのプロフィールは「ほかに真似できないことをしよう」。この夏、津田沼キャンパスを訪れ、50年前を思い出しながら熱い開発マインドを語ってくれた。

光触媒 実用化に成功 ピンチに負けぬ 技術者魂



「自分をしっかりもって」と山本社長

のとき福岡県代表として国体に出るほど上達した。しかし、華やかさは今ひとつ。女性部員もいない。それではと、今度は氷のリンクを滑走する「スケート同好会」を立ち上げた。その一方で郵便物の仕分け、プリント配線の設計事務所などでアルバイトにも精を出した。

そのころ、海岸線まで歩いてアサリを味噌汁にしてもらったという。楽しい学生生活で磨いたのは「人間力だ。卒業とともに親元へ。まず

コストを下げる独自技術もあって同製鉄所を含め各地に事業所を展開、ピーク時に社員は1500人になった。しかし、好事魔多し。第1次オイルショック(1973年)のころ、製鋼は連続製造ラインへ一変していく。インゴットの需要は落ち、人手は余り始めた。山本さんはその8年後に2代目社長に就くのだが、ほぼ半数をリストラせざるを得なかった。「勢いのある最も多忙なときこそ、事業は次に備えるべきだったのに怠った」と悔やむ。

慎重に経営を維持する一方、3つが本来ですから」と山本さん。今春、北九州市に「光の魔法」による製品量産化に向けた新工場を完成させた。ストレスはスキーと料理で発散する。「和洋中なんでも作るけど、なかでも得意は麻婆豆腐。料理は熱管理ですから、金属工学と同じ」と周囲を笑わせる。

「昔は兵舎のような建物がいくつかあったくらいで、すごい変わり方ですよ」。山本さんは母校の変貌ぶりに目を見張る。

父は全国各地の大手製鉄所(当時社名は「富士工業所」)のひとりつ八幡製鉄所(現・新日鉄)は千葉県君津市(君津製鉄所)へ進出を計画、それが正式決定した同じ1960年、「動きを見守りながら勉学を」と本学へ。「でも、あまり勉強しなかったなあ」。

現場に入り、そのあと営業も。「製鉄所に現場を作った」と命じられる。例えば川崎製鉄(現・JFEスチール)の水島製鉄所(岡山県倉敷市)へ日参し、秘書を紹介初対面。「きょうはいい天気ですね」「何しに来たんだ、キミは」「仕事が欲しいのですか」。その熱意を買われ、さらに現場の責任者と話を進めていく。インゴットの修理

方、創立50周年にあたる2001年、技術開発センターを開設。圧延仕上げロールのリサイクル化や超密着溶射技術(第1回ものづくり大賞、2005年)を実現していった。とくに光触媒は注目を浴びる。

最多35591人来場

7月オープンキャンパス

7月のオープンキャンパスが14日(日)、津田沼キャンパスで開かれた。今年度初のオープンキャンパス、また3連休の中日とあって過去最高の35591人が来場。猛暑にもかかわらず、関東近県以外からも、多くの高校生や教職員、父母たちが訪れた。

メインイベント「全部見せます」千葉工大には2号館大教室と4号館431教室で同時開催。午前10時のオープンと同時に、両会場とも満杯になった。

「オモシロ体験学習&学科説明会」は、学科の特徴を目で見、体験することが出来る。来場した高校生や保護者たちは、それぞれが興味ある学科のイベントに参加し、本学学生たちが自分の学科をアピールする熱気あふれる空間で、有意義な時間を過ごした。

4号館・懇談スペースの教育センター紹介では、大学1、2年次にどんなことを学ぶかの説明に耳を傾けていた。在学生からチマの音が聞ける「在学生にきいてみよう」や、女子高生の質問に本学女子学生が答える「チバテックの部屋」も好評。新習志野キャンパスを見学できるスクールバスツアーは3回実施され、全てが定員1000人を満した。

本学キャラクター「チバニー」を探せ!も人気で、予告なしに現れるチバニーを見つけては「記念撮影させて!」と、来場者たちが取り囲んだ。

次回オープンキャンパスは9月29日(日)に開催される予定。

お楽しみクイズタイムでは、子どもたちが競って元気に手を挙げ、正解者には、furoオリジナルのクリアファイルがプレゼントされた。

このあと、総合工学研究会(鈴木勝之部長)と未来ロボティクス学科2年メンバーが制作したロボット実機が登場。子どもたちは2つのワールドに分かれ、ロボット5台で、標的倒しゲームを楽しんだ。子どもたちは飲みこみが早く、コントローラーを操って、たちまちゲームをクリアしていた。

未ロボの5人西武船橋店で操縦体験コーナー

未来ロボティクス学科の鈴木勝之君(2年)ら「総合工学研究会」の5人は8月10、11日の土日曜日、西武船橋店(船

橋本市町)7階催事場で、夏休み「二足歩行ロボット操縦体験」を開き、子どもたちに二足歩行ロボットを披露した写真下。

会場にはfuroやロボティクス学科の教員らの研究成果をパネル展示。鈴木君たちは個人で作ったロボット(体高40~60センチ)に模擬バトルをさせ、各ロボットの特色を紹介した。

家族連れが取り巻く中、対戦するロボットたちの意外な俊敏さに、子どもたちは驚くばかり。倒れてもすぐ立ち上がる姿に拍手が。学生たちは、安価では作れない個人ロボットを、壊されるリスクを承知で投入、ダメージを受けたロボットを直して再挑戦させた。

操縦体験コーナーは2日間で8回設けられ、子どもたちが順番に挑戦。鈴木君は「ロボットをもっといろいろな人が触れて、興味を持ってもらえたらうれしい」と語った。

総合工学研究会はこれに先立つ8月6日に、県立現代産業科学館(市川市)で約60人の子供たちを相手に実験工作教室「二足歩行ロボット操縦体験」を開いた。

最近、常備菜なるものをせっせと作っては、冷蔵庫にストックしている。今入っているのは、きんぴらごぼう、煮豆、ラタトゥイユ。

頑張っているようだが、実は自分が楽をするため。我が家の朝食は最初が五時半スタート。高校生のための弁当作りも

ある。帰りが遅くなりそうなる時、心安らかていられる。しかしこれも、自分一人のためだけだとしたら、とたんにやる気がうせるのではないかと思う。

ところで、午前中の授業をしていて、集中できない人を見ると、朝何も食べていないのではないかと、勘ぐってしまう。

以前、一人暮らしでお金も時間も無い、料理も面倒という学生にアドバイスしたことがある。

千葉工業大学は昨年創立70周年を迎え、私立工科大系単科大学としては現存最古の大学となっている。激しい変化が伴う時代、多くの教員・職員として学生の手に、本学の歴史を作り上げてきたことに思いを馳せる。今後、さらに10年、20年と歴史と伝統を紡いでゆき、本学が飛躍してゆくことを願う次第である。

情報ネットワーク学科 中川 康宏

「バナナ一本でもいいから食べてきて。」

更に、ご飯を炊くというハードルを超えることができれば、缶詰のイワシや丸ごとのトマトで弁当までできてしまう。

なんだかすごいメニューだが、空腹で授業を受けたら昼食が毎日カップラーメンとなるよりは、まだいい。ぜひ工夫してもらいたい。親の立場からもそう思うのである。

教育センター数学科教室 橋口 秀子

夏休みはロボットと

先川原室長が親子らに説明



夏休みに親子でロボットの世界を楽しんでもらおうと「千葉工業大学のロボット教室」ロボットと未来の暮らし(本学とサンケイリビング新聞社千葉本部共催)が7月31日、津田沼2号館3階大教室で開かれた。写真上。

抽選で選ばれた親子193人を前に、未来ロボット技術研究センター(furo)の先川原正浩室長が講師となって▽ロボットコンテストの愉快なロボットたち▽福島第一原発に投入され

た災害対応ロボット「クインス」などを、大スクリーンを使って説明した。

多数のロボットコンテンツ審査委員を務める先川原室長は、80年代から最近のロボットまで、進化ぶりを紹介。スクリーンに映し出されるロボットたちの動きに、子どもたちは歓声を上げた。親たちは、原発災害でのロボット実機が登場。子どもたちは2つのワールドに分かれ、ロボット5台で、標的倒しゲームを楽しんだ。子どもたちは飲みこみが早く、コントローラーを操って、たちまちゲームをクリアしていた。

今年度の夏は各地で猛暑を記録した。その猛暑も9月に入りようやく落ち着きを取り戻し、最近では秋の到来を感じる日も増えてきた。

私事ではあるが今年の秋は私の地元で隔年開催の祭が実施される。この祭の準備を取り仕切る当番部長という大役に今年任命された。とは言え、350世帯程度の地区の代表であり、祭を開催する地区全体から見れば1割の代表である。しかし、その地域の文化と伝統を知る上では大きな機会となった。この祭の始まりは定かでないが、寛文11年(1671年)に隔年の開催に変わったとの記録が残されているので、少なくとも340年以上の歴史があるのだろう。

ソ、プンプンしながらはもったいない。得意を活かした自由研究を息子と相談し、「イラストなら!」この言葉で「オリンピック競技今昔絵巻」作成に取り掛かった。レスリングがオリンピックから消える?をトピックスに、ずっと実施の競技や消えた競技などに振り分けし、水泳や体操、陸上競技と次々にイラストを仕上げた。ちょいちょい細かい演出で、

入試広報課 大橋 慶子

編集だより



夏休みの宿題をいつまでに終わらせるか……今年度の息子の目標は8月前半と、それはむしろ心構えだったが、当然、うまく事が運ばない。私が子供の頃からの永遠のテーマであることを痛感。夏休み最後の週末をいかに気持ちよく過ごすか! イヤイヤ、メソメ

「全部見せます…」でチバニーもお手伝い



「在学生にきいてみよう」首環境の部屋で

未ロボの5人西武船橋店で操縦体験コーナー



最近、常備菜なるものをせっせと作っては、冷蔵庫にストックしている。今入っているのは、きんぴらごぼう、煮豆、ラタトゥイユ。

頑張っているようだが、実は自分が楽をするため。我が家の朝食は最初が五時半スタート。高校生のための弁当作りも

ある。帰りが遅くなりそうなる時、心安らかていられる。しかしこれも、自分一人のためだけだとしたら、とたんにやる気がうせるのではないかと思う。

ところで、午前中の授業をしていて、集中できない人を見ると、朝何も食べていないのではないかと、勘ぐってしまう。

以前、一人暮らしでお金も時間も無い、料理も面倒という学生にアドバイスしたことがある。

千葉工業大学は昨年創立70周年を迎え、私立工科大系単科大学としては現存最古の大学となっている。激しい変化が伴う時代、多くの教員・職員として学生の手に、本学の歴史を作り上げてきたことに思いを馳せる。今後、さらに10年、20年と歴史と伝統を紡いでゆき、本学が飛躍してゆくことを願う次第である。

情報ネットワーク学科 中川 康宏

ソ、プンプンしながらはもったいない。得意を活かした自由研究を息子と相談し、「イラストなら!」この言葉で「オリンピック競技今昔絵巻」作成に取り掛かった。レスリングがオリンピックから消える?をトピックスに、ずっと実施の競技や消えた競技などに振り分けし、水泳や体操、陸上競技と次々にイラストを仕上げた。ちょいちょい細かい演出で、

入試広報課 大橋 慶子